

つり環境ビジョンコンセプトに基づく
LOVE BLUE
事業報告書
2015

～全国に広がる感謝の輪～



LOVE
BLUE

地球の未来を

つり環境ビジョン

未来へ残したい 美しい地球の

つり環境ビジョンコンセプトに基づくLOVE BLUE事業

ために 今 私たちは行動します

参加企業199社(2016年7月28日現在 50音順)

ア

(株)アイビック
 (有)アイビーライン
 アキレス(株)
 (有)アクティブ
 アサヒレジャー(株)
 (株) アピア
 (株) アムズデザイン
 (有)アリゲーター技研
 アングラーズリパブリック(株)
 (有)アングル
 (株)イシグロ
 (有)イシナダ釣工業
 五十鈴工業(株)
 (株) issei
 ING co.,
 ヴァンフック(株)
 (株)ウィン インコーポレーテッド, ジャパン
 (株)ウィング
 植田漁具(株)
 (株)ウォーターハウス
 (有)ウォーターランド
 (株)魚矢
 (株)宇崎日新
 ウチダトレーディング・モリックスジャパン
 (株)エイテック
 (株)エバグリーン インターナショナル
 (有)エムワントレーディング
 (有)オー・エス・ピー
 (株)オーナーバリ
 (株)オーパデザイン
 (株)オオモリ
 (有)オジーズ
 (株)小野由
 (株)オフィスアクセル
 (有)オフィス・ユカリ
 オフト(株)

(株)オリムピック
 (株)オンスタックル

カ

(株)鶴祥
 景山産業(株)
 (株)カズマーク
 (株)カツイチ
 (有)加藤精工
 カハラジャパン(株)
 (有)カビィ
 (株)がまかつ
 (株)川せみ針
 (有)GAN CRAFT
 (有)関門工業
 (株)キサカ
 (株)キザクラ
 (株)キラード
 (株)クリーブラッツ
 (株)Gray hound
 クレハ合織(株)
 グロープライド(株)

(株) KIOB

(株)ケイテック

(株)ゲインコーポレーション

(株)ケー・デー・関東

ゲリーインターナショナル(株)

ケンインターナショナル(株)

(株)剛樹

(株)ゴーセン

(株)コヒナタ

サ

(有)財津釣具
 (有)サウスウィンド
 栄通商(株)
 櫻井釣漁具(株)
 (株)ささめ針
 (株)ザップ

(有)サニー商事
 サンヨーナイロン(株)
 (株)サンライン
 (株)ジークラック
 (株)シーフロアコントロール
 (株)シマノ
 (株)下田漁具
 (株)ジャクソン
 (株)ジャッカル
 (株)ジャンプライズ
 (株)上州屋
 (株)スズミエンタープライズ
 スターンキーパー(株)
 スティールハント

(株)スナガ

(株)スミス

征興産業(株)

(株)清光商店

(株)ゼニス

(株)双進

第一精工(株)

タ

大同(株)

大同石油(株)

ダイトウブク(株)

太陽産業(株)

(株)ダイレイ

タカ産業(株)

高階救命器具(株)

(株)タカミヤ

(株)宝島

(株)タックルハウス

谷山商事(株)

(株)ダン

中央漁具(株)

(株)津田商会

(株)ツネミ

つり(株)
 (株)釣研
 (株) DRT
 D-CLAW
 (株) DSTYLE
 (株)ディーパース・ファクトリー
 TICA JAPAN (株)
 (株)ティムコ
 (株)テクノス
 design KONI
 (株)デプス
 (株)デュオ
 (株)天龍
 (株)土肥富
 東亜ストリング(株)
 東邦産業(株)
 東レインターナショナル(株)
 ドリームエクスプレスルアーズ

ナ

(株)内外出版社

(株)ナカジマ

ニッコー化成(株)

(株) NOIKE

ハ

ハイドアップ(有)

バスデイ(株)

(有)バスデイ販売

(株)林釣漁具製作所

(株)ハヤブサ

はり秀(株)

(株)ハリミツ

(有) HMKL

HAND MADE LURE HIRO

(株)ビーエムオー・ジャパン

ピュア・フィッシング・ジャパン(株)

(有)ヒロカコーポレーション

FIELD BACK

プエブロ(株)
 (株)フォレスト
 富士工業(株)
 富士灯器(株)
 (株)フジノライン
 (株)フジワラ
 (株)藤原辰次商店
 (株)ブリーデン
 ブルーブルー(株)
 (株)プロックス
 ベイトプレス
 (株)ベルモント
 BOREAS

マ

(株)マガジン・マガジン

マルキュー(株)

丸米商事(株)

(株)マルシン漁具

(株)まるふじ

mibro

(株)ミヤマエ

(株)ムカイフィッシング

(株)名光通信社

明邦化学工業(株)

メガバス(株)

(株)モーリス

(有)もちづき釣具

(株)もりげん

Moriken speed bite

ヤ

(株)ヤマイ

山田電器工業(株)

山豊テグス(株)

山本光学(株)

(株)ヤマリア

(株)ヤリエ

ユニチカ(株)

(有)よつあみ

ラ

(株)ラインシステム

落花生

(株)ラッキークラフト

Rattytwister

ラパラ・ジャパン(株)

REALS

(株)リチャーズ

リトルジャック(株)

リミット

(株)ルミカ

RAID JAPAN (株)

(株)レイン

LEGAME

(有)ロデオクラフト

ワ

(株)脇漁具製作所

(株)ワトスファクトリー

(株)ワールドスポーツ

< 寄付企業 >

- 2013年度 -

興和(株)

(株)釣りビジョン

(株)つり人社

- 2014年度 -

(株)アイビック

アサヒレジャー(株)

(株)タカミヤ

(株)釣りビジョン

(株)マルシン漁具

琵琶湖遊漁船業協会

- 2015年度 -

(株)釣りビジョン

社会貢献としてのLOVE BLUE事業のあゆみ

2011年 一般社団法人日本釣用品工業会 ワーム湖底・海底清掃開始

2012年 一般社団法人日本釣用品工業会ビジョン「つりの未来のために私たちができること」策定

業界内666社に向けアンケート実施

一般社団法人日本釣用品工業会
企画プロジェクト提言「つり環境ビジョン2012」発表



2013年 「つり環境ビジョン事業」開始

2013年度 プロダイバーによる水中クリーンアップ活動を
4県4箇所17日実施



2014年 2014年度 プロダイバーによる水中クリーンアップ活動を
20道県40箇所166日実施

2015年 一般社団法人日本釣用品工業会
事業名・委員会名等を「つり環境ビジョン」から「LOVE BLUE」へ移行

2014年 環境省主催エコライフ・フェア2014出展

独立行政法人環境再生保全機構
地球環境基金企業協働プロジェクト第1号
「つり環境ビジョン助成」開始 8団体を助成



公式FACEBOOK・公式ホームページの運営を開始

2014年 茨城県およびクリーンアップひぬまネットワークと
連携し酒沼の水中クリーンアップ活動
2015年 茨城県およびクリーンアップひぬまネットワークと
連携し酒沼の水中クリーンアップ活動



プロダイバーによる水中クリーンアップ活動が
ラムサール条約登録の一助に(茨城県酒沼)

環境大臣より感謝状を授与される



2015年 徳島県で水中クリーンアップ活動

徳島県の小学校で環境教育事業実施



2015年度 プロダイバーによる水中クリーンアップ活動を
19道県39箇所150日実施

2015年 環境省主催エコライフ・フェア2015出展(2年目)
望月義夫環境大臣
一般社団法人日本釣用品工業会ブース訪問



2016年

2016年 JAF2016メインステージにて助成団体事業報告会開催

独立行政法人環境再生保全機構
地球環境基金 企業協働プロジェクト
「つり環境ビジョン助成」2年目、8団体を助成



公式FACEBOOK「いいね」の数が3,400を超えました

2013年 東京湾口にマダイの稚魚 20万尾放流
2014年 東京湾口にマダイの稚魚 20万尾放流
2015年 東京湾口にマダイの稚魚 20万尾放流
2016年 東京湾口にマダイの稚魚 20万尾放流



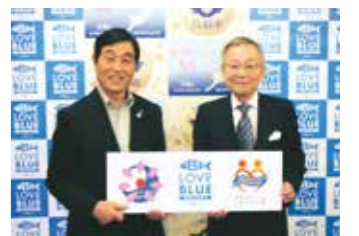
専門機関(公益財団法人 神奈川県栽培漁業協会)と
連携した放流事業 第1回報告書提出予定

2014年 南房総市野島漁港水中クリーンアップ活動
2015年 南房総市白浜海女まつり公式参列者として招待・参加
2015年 南房総市乙浜漁港・富浦漁港水中クリーンアップ活動
2016年 南房総市乙浜漁港水中クリーンアップ活動



南房総市長へ表敬訪問

2014年 鳥羽市鳥羽港・答志島桃取漁港水中クリーンアップ活動
2015年 鳥羽市鳥羽港水中クリーンアップ活動
2016年 伊勢志摩サミット三重県民会議
「おもてなし大作戦」協賛登録
2016年 G7伊勢志摩サミット公式ロゴ 外務省より使用許諾
2016年 鳥羽市鳥羽港・熊野市二木島港水中クリーンアップ活動



G7伊勢志摩サミット連携&鳥羽市長へ表敬訪問

2016年 環境省主催エコライフ・フェア2016出展(3年目)
丸川珠代環境大臣
一般社団法人日本釣用品工業会ブース訪問



LOVE BLUE事業水中クリーンアップ活動 G7伊勢志摩サミットへ貢献

G7伊勢志摩サミット 5月26日(木)・27日(金)

LOVE BLUEはG7伊勢志摩サミットを
水中クリーンアップ活動で応援します。



写真提供 伊勢志摩国立公園協会

木田久主一 鳥羽市長を 当工業会 島野容三会長が表敬訪問 5月19日10:00～ 三重県鳥羽市役所市長室

2016年5月19日、G7伊勢志摩サミットまであと7日となった、三重県鳥羽市・鳥羽市役所本庁舎内、鳥羽市長室へ、一般社団法人日本釣用品工業会 島野容三会長が表敬訪問しました。

G7伊勢志摩サミットへ連なる LOVE BLUE事業の「格」

島野会長（以下会長）：サミット前の大変お忙しい時期にお時間をいただきありがとうございます。

あらためまして、市長直々のお声かけで、鳥羽港の清掃の機会を頂戴し、さらには、G7伊勢志摩サミットへのおもてなし大作戦に加えていただくことができまして、我々といしましては、これまでLOVE BLUE事業として取り組んで参りました社会貢献活動に、ひとつの大きな「格」をつけていただくことになりました。これまでのご配慮に心から御礼を申し上げます。

釣りに対するイメージが大きく変わる

木田市長（以下市長）：こちらから御礼のごあいさつに伺うべきところ、鳥羽市へお運びいただき、ありがとうございます。鳥羽は海女と真珠のふるさとです。私たちが大切にしている海をきれいにしていただいていることに心から感謝申し上げます。

市長：多くの企業が志を同じくして参加されていることが本当に素晴らしい。釣りに対するイメージが大きく変わってくると思います。



鳥羽市 木田久主一市長と





鳥羽市 木田久主一市長

地域経済へ釣りがもたらす好影響

市長: 鳥羽市はホテルなどの産業がありますから、釣りは大変ありがたい。

市長: LOVE BLUEのロゴもとても良いですね。鳥羽市のロゴは海女を三代続けてされている娘さんが潜っているところをデザインしたものなんです。

碧い生命の地球の環境保全が LOVE BLUEの志

会長: 私たちが取り組む社会貢献事業をLOVE BLUE事業と呼んでおりまして、碧い生命の地球、その環境の保全を大きな志として、今年で四年目を迎え、水中クリーンアップ活動をこの社会貢献事業の中心に据えながら、昨年度は39か所で150日、全国各地で活動を進め、環境大臣から感謝状をいただくなど、お陰様で、少しずつではありますが社会的な評価をいただけるようになって参りました。

そして最後に —

市長: 今後とも、引き続きご尽力をお願いしたい。どうぞ宜しくお願いします。

会長: これからも業界を挙げてLOVE BLUE事業を進めて参ります。是非ご協力を宜しくお願いします。



地域のみなさまに喜ばれる LOVE BLUE

この後、島野会長は、水中クリーンアップ活動の鳥羽市の担当者が在籍する、鳥羽マリンターミナルにある鳥羽市定期船課 齋藤貞之課長へ御礼のあいさつに訪れました。

齋藤課長: このたびは、鳥羽市の離島のライフラインである定期船の発着所周辺という安全管理が求められる場所の水中クリーンアップ活動をプロダイバーにより実施していただきまして、本当に感謝しております。以前、水中のゴミが定期船のプロペラに巻き付き、離島のライフラインに大きな影響が出たこともありました。一般社団法人日本釣用品工業会から三重県を通じて、水中クリーンアップ活動のお申し出をいただきましたこと心から御礼申し上げます。鳥羽の海と人々の生活に大きく寄与していただきました。

会長: こちらこそ、皆様からのご理解とご協力に心から感謝申し上げます。これからも頑張って参りますのでどうぞ宜しくお願いします。

【三重県鈴木英敬知事からのお礼状】



一般社団法人日本釣用品工業会 島野容三会長



鳥羽市定期船課 齋藤貞之課長と

継続的な社会貢献としての LOVE BLUE事業を評価



南房総市 石井裕市長

南房総市からのご要望に感謝

小島委員長（以下委員長）：2014年6月に野島漁港で水中クリーンアップ活動を行わせていただいて以来、ご縁をいただき、ありがとうございます。翌7月の南房総白浜海女まつりにおいて、公式に参列させていただいた際、石井市長にはご挨拶させていただき、その節は、大変お世話になりました。

石井市長（以下市長）：こちらこそ。今年度も、乙浜漁港の水中清掃を行っていただき、ありがとうございます。ところでLOVE BLUE事業の水中クリーンアップ活動は、全国規模で活動されているそうですね。

委員長：はい、活動地域に偏りが出ないように、行政の皆様と連携させていただきながら、全国規模でバランス良く水中クリーンアップ活動を行うようにしています。千葉県からは、事業開始の年度からご縁をいただき、特に南房総市は、初期の段階から快く水中クリーンアップ活動のご要望をいただきました。本当に感謝しています。

市長：乙浜漁港の他には、野島漁港と富浦漁港もお世話になっていますね。こちらこそ、感謝しています。

委員長：乙浜漁港では、今朝から水中クリーンアップ活動を行っています。今年度も活動の場を与えていただき、南房総市との温かいご縁をうれしく思っています。私たちは釣用品メーカーの全国団体組織です。環境保全に関しては業界として釣り人に向けて啓蒙活動を行っていますが、まだまだ地球の環境に負担をかけてしまうこともあると思っています。水中クリーンアップ活動はもちろん、これからは地球環境のために、さまざまな活動を行いたいと思っています。



石井裕 南房総市長を 当工業会 小島忠雄LOVE BLUE委員長が表敬訪問

4月18日14:00～ 千葉県南房総市役所市長室

全国へ広がる社会的な信頼を いただけたことに感謝

委員長：2014年度に南房総市の野島漁港の水中クリーンアップ活動を実施させていただき、第50回南房総白浜海女まつりに公式にご招待いただいた社会的な信頼をもとに、LOVE BLUE事業の水中クリーンアップ活動を全国に広げることができました。しかも1回だけで終わることなく、継続して水中クリーンアップ活動を実施させていただいていることに関しても、改めてお礼申し上げます。1回の水中クリーンアップ活動では、キレイにできる範囲に限られています。一度清掃した場所も、時間が経つと再びごみが溜まることもある。継続して活動させていただくことが大切だと考えています。まだまだ規模は小さいですが、釣り業界として環境に目を向けてこれからも活動を続けていこうと思っています。

LOVE BLUE事業を評価

委員長：水中クリーンアップ活動の他にも、昨年度から「つり環境ビジョン助成」という活動を始めています。これは独立行政法人環境再生保全機構における地球環境基金企業協働プロジェクト第1号として始まったもので、水辺の環境保全を考えるNPOなど諸団体を全国規模で支援するものです。昨年度は、8団体を助成いたしました。その活動を評価いただき、環境大臣から感謝状を授与されました。

市長：それはすごいですね。さまざまな活動をされている中で、私たちの南房総市を水中クリーンアップ活動の場として選んでいただき、うれしく思っています。水の中は自分たちでは、なかなか清掃できないので、プロのダイバーの方々に水中を清掃いただけるのは、とてもありがたいです。



一般社団法人日本釣用品工業会
LOVE BLUE委員会 小島忠雄委員長





委員長:南房総市は三方を海に囲まれているので、多くの釣り人が訪れます。南房総市の観光シーズンは冬なのですが、釣り人の皆さんには年間を通して、楽しんでいただいているようです。

今後も継続的な実施の要望

市長:南房総市での活動を引き続きよろしくお願ひします。

委員長:こちらこそ、よろしくお願ひします。私たちの活動は、やり続けることに意味があります。これからも行政の皆様、地域の皆様にご理解とご協力をいただきながら活動を続けていきたいと思ひます。本日はお忙しい中、ありがとうございました。



環境保全活動に大きく貢献 環境大臣から感謝状

参加企業の皆様のご理解とご協力、そして釣り人の皆様一人一人の力を合わせて展開する LOVE BLUE事業は、2015年度、新たに本事業の一環として、独立行政法人環境再生保全機構と連携し、同機構による「地球環境基金 企業協働プロジェクト」の第1号「つり環境ビジョン助成」をスタートさせました。

この事業は、日本国内で水辺の環境保全活動等を行う NPO・NGO 等の団体に対し、その活動を支援する為の助成で、2015年度は、全国8団体を支援しました。上記の事業を踏まえた、つり環境ビジョン助成の環境保全活動に対し、「環境の日」である6月5日付にて、環境大臣より感謝状をだされ、そして6月10日(水)、一般社団法人日本釣用品工業会 LOVE BLUE 委員会小島忠雄委員長が当工業会を代表して、環境省を訪問し環境省総合環境政策局 小林正明 局長(当時)より授与されました。



環境省総合環境政策局 小林正明 局長(当時)と

LOVE BLUE 事業報告書2015

～全国に広がる感謝の輪～

目次

I つり環境ビジョンコンセプトに基づく LOVE BLUE 事業 参加企業

II 社会貢献としての LOVE BLUE 事業のあゆみ

III LOVE BLUE TOPICS

- LOVE BLUE 事業水中クリーンアップ活動
G7 伊勢志摩サミットへ貢献
木田久主一 鳥羽市長を当工業会 島野容三会長が表敬訪問
- 継続的な社会貢献としてのLOVE BLUE 事業を評価
石井裕 南房総市長を当工業会 小島忠雄 LOVE BLUE 委員長が表敬訪問
- 環境大臣から感謝状

IV 2015 年度事業報告

- 全国に広がる感謝の輪
～水中クリーンアップ活動編～
～地球環境基金 企業協働プロジェクト編～
- 専門機関と連携した放流
- 松下和夫京都大学名誉教授
～LOVE BLUE 事業報告書2015発刊にあたり～
- 公式 FACE BOOK 公式ホームページのご案内

IV



2015年度事業報告

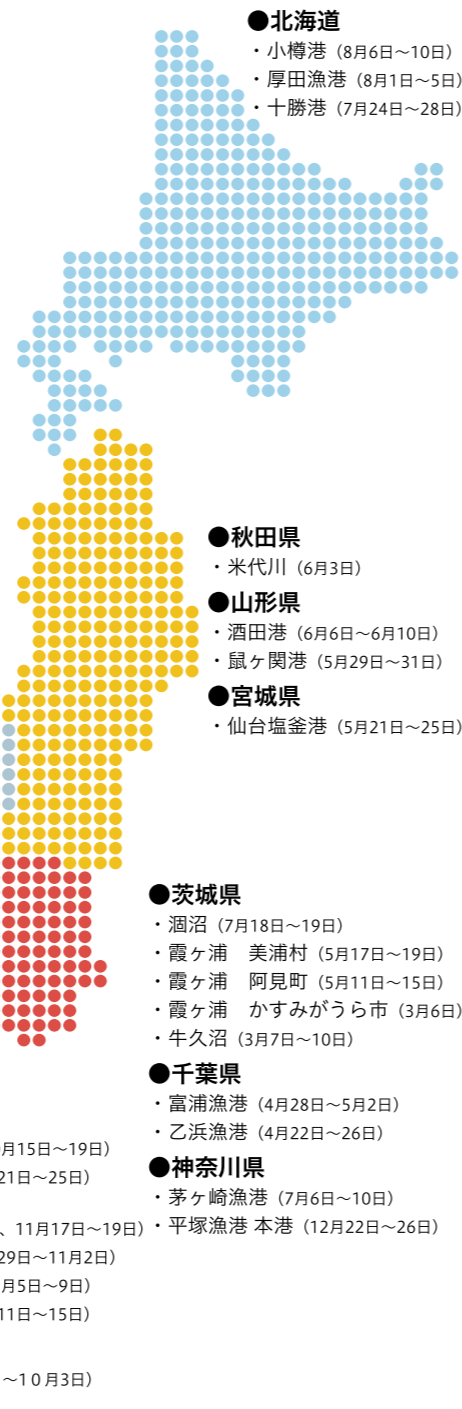
- 全国に広がる感謝の輪
～水中クリーンアップ活動編～
～地球環境基金 企業協働プロジェクト編～
- 専門機関と連携した放流

全国に広がる感謝の輪 ～水中クリーンアップ活動編～

碧い生命の地球、その環境保全を大きな志として、LOVE BLUE事業では、公平性の観点から全国を7ブロックに分け、当工業会実施の客観的な業界アンケート結果を踏まえ、全国の各都道府県・市町村、漁業者などの皆様からのご要望を基に実施場所の選定を行い、プロダイバーによる水中クリーンアップ活動を実施させていただいています。

プロダイバーによる水中クリーンアップ活動に際しては、陸上と水中の常時無線交信設備を装備するなど、万全の安全管理を徹底し、関係機関への許可・届出・周知等を整えて実施しております。また、回収したごみは産業廃棄物として責任をもって適切に処分しています。

LOVE BLUE事業で実施する、プロダイバーによる水中クリーンアップ活動は、2013年度の事業開始より2015年度に至るまで、全国実施累計335日を無事故で進めています。



プロダイバー水中クリーンアップ活動地域マップ

全国**39**箇所 **150**日実施
(累計**335**日実施)

2015年度

石川県小松市安宅漁港



石川県漁業協同組合小松支所
運営委員長 森田 誠さん

水中クリーンアップ活動に
心からありがとう



漁港の水の中の清掃は、やりたくても漁協の予算の関係でできないのが現状でした。安宅漁港は、梯川を利用した船溜まりの港です。強風や大波から船を守れる一方、川から流木などが入ってくるとなかなか出て行かないという面があります。ですから、皆さんに水中クリーンアップ活動を行ってもらえるのは、

本当にありがたいですよ。一般社団法人日本釣用品工業会さんは、現場で作業されている方も含めて「やってあげている」という感じがまったくありませんし。こんな人たちがいるんやなあ～と感心しています。本当にありがとう。

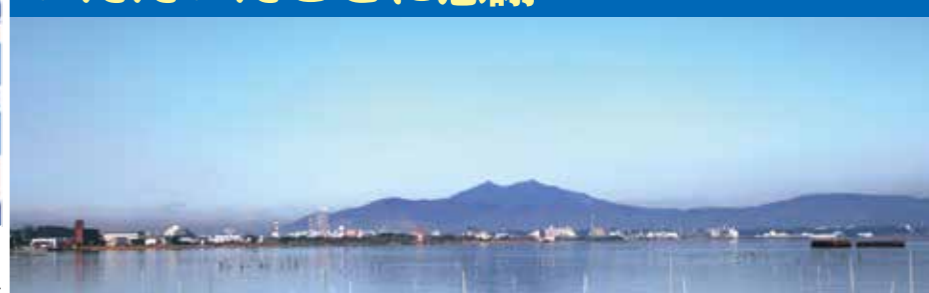
実施経緯 石川県、石川県漁業協同組合及び同小松支所よりご要望をいただき実施

茨城県稲敷郡阿見町霞ヶ浦



阿見町 町長 天田 富司さん

行政の手の届かないところを実施して
いただいたことに感謝



LOVE BLUE 事業の水中クリーンアップ活動は、とてもありがたかったですね。ダイバーの技術や装備も必要な水中や湖底の清掃は、行政でもなかなかできない部分ですから。町としては大変ありがたく思っていますし、ぜひ今後も続けていただければと思っています。霞ヶ浦は首都圏からのアクセスもよく、

釣り大会なども行われる良質な釣りスポットなので、1年を通して大勢の釣り人が訪れます。近隣住民を始め、多くの方が大切に守っている霞ヶ浦ですから、釣り人にはぜひ、ごみは持ち帰っていただきたいですね。水がきれいになればもっと魚も増えるでしょうし、ぜひご協力をお願いしたいです。

実施経緯 茨城県、霞ヶ浦問題協議会、阿見町よりご要望をいただき実施

宮城県仙台市仙台塩釜港(仙台港区)スリーエム仙台港パーク



スリーエム仙台港パーク
管理事務所 所長 小島 幸浩さん

東日本大震災からの復興だけでなく
公園全体の美化にもつながっています



土日は特に人が多く、小さなお子さん連れの方をよく見かけますね。東日本大震災後にここが供用開始となった、2014年の夏から皆さんに水中クリーンアップ活動を行っていただきましたが、その後からパーク内のごみも減ったような気がします。ここは海を見ながらのんびり過ごす方が多いので、水中クリーンアップ活動を目にした方も多いはず。海の中を清掃していただくことが、公園全体の美化につながっているように思いますね。とてもありがたいことです。

(以下、地元の釣りクラブの副会長)

このあたりでよく釣れるのはシャコエビ。アイナメやアナゴも釣れるよ。クラブ員は震災前、120人おったけど、震災を機に引越した人も多くて、今は37～38人かな。でもね、メンバーで週に一度、自主的にパーク内のごみ拾いや、草むしりをやってるんだ。土日は、自分たちの釣りはそこそこに、家族連れなど釣りに不慣れな人に仕掛けを作ってあげたり、コツを教えて上げたり。その上で、「ごみは持ち帰ってくださいね」と言ってるの。やっぱりね、ここに来るみんなに楽しんでもらいたいからさ。今日も、LOVE BLUEの水中クリーンアップ活動をしてくれているね。まだ水温が低いのに、ああやって掃除をしてくれて、ありがたいよね。

実施経緯 宮城県よりご要望をいただき実施



富山県射水市六渡寺海岸



庄西地域振興会 会長
佐野 幸広さん

子どもたちにきれいな海を残したい
本当にありがたい



私が子供の頃、六渡寺海岸はとってもきれいな海でした。泳いだり、魚を獲ったりしていました。今、我々地元で海岸のごみ拾いをしていますが、海の中のごみ拾いはなかなか難しいんです。というのも、例えばビニールの袋などは、砂を巻き込んで砂に埋まっているため、拾い上げようとしても、途中で

ぎれてしまう。また、重機で海水ごとごみをすくい上げようとする、ごみが逃げてしまいます。地元住民では海の中は掃除できないので、皆さんによる水中クリーンアップ活動には期待しているのです。本当にありがたいですよ。

実施経緯 富山県、伏木港湾事務所、庄西地域振興会よりご要望をいただき実施

香川県小豆郡土庄町 土渕海峡 土庄港周辺



土庄町役場 商工観光課
三枝 晃さん

安全対策がされた水中クリーンアップ
活動なので安心していきます



地元の人は美しい海を見慣れているせいか、他の地域の方に「キレイな海ですね」と言われて、初めてその魅力に気付くという人も多いといいます。

(以下、土庄町役場 農林水産課 高橋幸光 課長)
土渕海峡では島の反対側に向かう際の近道になることもあり、ジェットスキーやプレジャーボートなど、

小型の船がよく通ります。そのため、なかなか海峡の底を清掃する機会がありませんでした。ですから今回の水中クリーンアップ活動で、ごみの引き上げから撤去までしていただけるのは、とてもありがたいと思っています。安全対策もしっかりした上で作業されるという点も、とても安心ですね。

実施経緯 香川県、小豆郡土庄町よりご要望をいただき実施

茨城県東茨城郡茨城町涸沼



クリーンアップひめま
ネットワーク 会長 谷萩 八重子さん

技術や装備をもつプロダイバーの水中
クリーンアップ活動に感謝しています



水の中は潜ってみたいとわかりませんが、誰にでもできることではありません。水中の清掃には技術や装備が必要ですから、町でも漁協でも手がつけられないのです。そんな、地元ではどうにもできない部分を皆さんに水中クリーンアップ活動を実施していただき、とても感謝しています。これからもぜひ、涸沼で水中クリーンアップ活動を

続けていただければと思っています。涸沼は野鳥や昆虫、植物など、自然がとても豊かな場所。ラムサール条約の登録湿地には、自然を適正に利用することが求められます。涸沼でも、環境をしっかり守りつつ、今後はより多くの方にこの自然を楽しんでいただけるよう、観光にもつなげていきたいと思っています。

実施経緯 茨城県、クリーンアップひめまネットワークよりご要望をいただき実施

LOVE BLUE事業 水中クリーンアップ活動が 涸沼のラムサール条約登録の一助に

茨城県をはじめ、地元の市民団体の皆様と一緒に涸沼で実施した水中クリーンアップ活動では、これまで積み重ねられた地元の皆様の陸上の清掃と心を合わせてプロダイバーによる水中の清掃を実施させていただいた結果、2015年5月涸沼は晴れてラムサール(特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する)条約の登録湿地となりました。(涸沼における水中クリーンアップ活動は、2014年度より実施)



愛知県犬山市入鹿池



入鹿用水土地改良区
事務局長 生田 幹也さん

多くの方への
マナー啓発活動にもなります



ここは桜や紅葉の景色もいいのですが、5月の新緑の時期もとても気持ちがいい。年間を通して楽しめるので、観光やレジャーで訪れる方がたくさんいます。しかし人が集まると、どうしてもごみが出るようになります。地元でもごみ拾いを行っています。陸上のごみしか拾えません。ですから、今回のように入鹿池の水中を清掃していただけるのは、とてもありがたい

ですね。こうした活動をしていただくことは、入鹿池で釣りを楽しむ方々を始めレジャーや観光で訪れる方に対しても、よい啓発活動になるのではないのでしょうか。入鹿池は農業用水を供給する場所。人が口に入れるものをこの水で作っているのです。だからこそ、きれいな水でなければなりません。入鹿池をきれいに保つということは、とても大切なことだと思うのです。

実施経緯 愛知県、犬山市、入鹿用水土地改良区よりご要望をいただき実施

茨城県かすみがうら市 霞ヶ浦歩崎公園 志戸崎漁港



霞ヶ浦問題協議会
会長(土浦市長) 中川 清さん

霞ヶ浦にとって大変意義深い



陸上清掃は私たちが出来ますが、水中の清掃まではなかなか手がかけられない。見ているとこっちは寒くなるくらいだけど、本当に寒い中、ご苦労様です。今回も皆さんに水中クリーンアップ活動を行っていただいたことは、凄く役に立っています。水中にあるごみは普段は見えないですね。

それを水中クリーンアップ活動を通して意識させていただける。それで、私たちが水の中へごみを捨ててはいけないという意識の啓発に本当に役立つと私は思っています。霞ヶ浦の環境保全へのご協力へ心から御礼申し上げます。

実施経緯 茨城県、霞ヶ浦問題協議会、霞ヶ浦漁業協同組合よりご要望をいただき実施

徳島県海部郡美波町 由岐漁港



美波町役場
産業振興課
浜 大吾郎さん

住民の皆さんにも海を大切にする意識がさらに広がればと期待



海の恩恵を受けてきた由岐にとって、海は切っても切れない存在です。けれども、昔に比べて人々の暮らしがだんだん海から離れているのも事実です。私が子供の頃は友達同士で海に遊びにいきましたが、今はそうではありません。また、徳島市内に働きに出る若い世代も多くなっています。けれども、生業があってこそ、町は続いていくもの。海はこの町の生業であり、資源だということを、多くの人に気付いてもらえればと思っています。そのためには、普段から海を大切にする気持ちを持ってもらうことが必要です。そん

な時、この水中クリーンアップ活動のお話をいただき、ぜひに、とお願いしたのです。もちろん、漁師の方々は普段から港の清掃をされていますが、水の中の清掃は難しいですから。プロダイバーが水中クリーンアップ活動に来て下さることで、住民の方にも海を大切にしようという意識がさらに広まればと期待しています。

また、「地元の由岐小学校では、5年前から『水に賢い子を育てるプログラム（水プロ）』を行っていて、今回の水中クリーンアップ活動と『水プロ』をぜひ組み合わせたいと思いました。」

実施経緯 徳島県、美波町、西由岐漁業協同組合、東由岐漁業協同組合よりご要望をいただき実施



美波町立由岐小学校
校長
池本一彦先生

今回の環境教育授業で、将来この町を支えていく児童たちが、環境保全の大切さにさらに目を向けてくれればと思っています

**ごみを捨ててはいけない
地元の海の素晴らしさを改めて感じて欲しい**

6年生は、年間を通じて由岐の海について学びます。例えば、由宇の浜で磯の生物を観察したり、夏は笠野島でカヌーやスノーケリングを、田井ノ浜では生き物や磯焼けの観察などを行っています。また、秋は遠足で田井ノ浜へ行き、砂の造形を作ったり…。さらに、ごみゼロ活動の日には、全校生徒が由宇の浜や由岐港などを含む町中のごみ拾いをしてい

ます。児童たちは、5年前から行われている、こうした「水に賢い子を育てるプログラム（水プロ）」を通して由岐の海のキレイさを感じる一方、由岐の海を汚すごみの存在にも気付いているはず。今回の環境教育授業や水中クリーンアップ活動の見学を通じて、ごみを捨ててはいけないということ、そして由岐の海のすばらしさを改めて感じてくれればと思っています。



美波町立由岐小学校
6年生担任(当時)
竹島 稔先生

LOVE BLUE水中クリーンアップと 地元の教育プログラム「水プロ」が連携し 小学校で環境教育を実施!



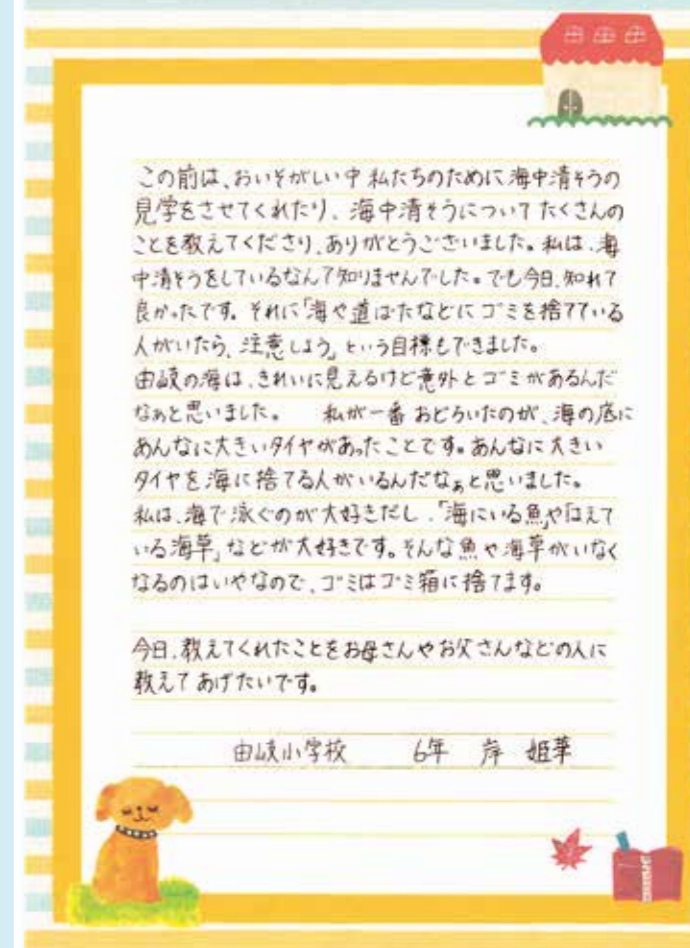
**一般社団法人日本釣用品工業会
LOVE BLUE 委員会
小島忠雄委員長の小学校でのお話**

水には国境がありません。地球上では、水はすべてつながっているのです。だから、例えば川で捨てたごみが、遠くの海で見つかることもあります。ごみが増えて水が汚れば、魚や生き物が住めなくなってしまいます。

だからこそ、ごみを捨ててはいけません。けれど、水中清掃活動をしていると、時には自転車など、思わぬものが出てきます。誰かが海に捨てている可能性もありますよね。悲しいことですが、そういう現実もまだまだあるのです。

この後、皆さんには水中清掃活動を見学してもらいますが、この町の海にどんなものが落ちているか、ぜひ見てくださいね。私たちはこれからも水中清掃活動を続けることで地球に感謝し、自然を取り戻すお手伝いをしていきたいと思っています。(抜粋)

**LOVE BLUEの環境授業を終えた
児童の皆さんからの感謝の手紙(一部)**



全国に広がる感謝の輪 ～地球環境基金 企業協働プロジェクト編～ つり環境ビジョン助成

独立行政法人環境再生保全 機構地球環境基金とは

当時の環境庁(現・環境省)が中心となり、民間団体(NGO・NPO)による環境保全活動への資金の助成その他の支援を行うため、1993年5月創設されました。

1993年度から2015年度までに延べ4,419件、総額149億円の助成を行うなど、NGO・NPOの環境保全活動を積極的に支援しています。



地球環境基金企業協働プロ ジェクト・つり環境ビジョン 助成とは

地球環境基金の支援する活動の中で特定の活動に対して支援をしたい寄付者の「想い」を反映させたプログラムです。

地球環境基金のビジョン・ミッションの範囲の中で、助成対象・分野・金額に独自性があり、選考などには、寄付者の「想い」が反映されます。

つり環境ビジョン助成は、一般社団法人日本釣用品工業会より寄付された資金によるものであり、清掃活動など、水辺の環境を構築するための助成金となっています。



(特非) アーキペラゴ



(特非) 浅間・吾妻エコツーリズム協会



(特非) 荒川クリーンエイド・フォーラム



(特非) いびがわミズみずエコステーション



(一社) JEAN



海守さめき会



誇れるふるさとネットワーク



(特非) ワールドオーシャンズデイ



特定非営利活動法人

アーキペラゴ

活動地域

香川県 (せとうちの島々含む)

活動分野

総合環境教育

清掃活動を取り入れた エコツーリズム

香川県の島嶼部で、海ごみをテーマにした環境学習も交えた「エコツアー」として漂着ごみ回収を実施しました。活動を通じて海ごみ問題の解決とツアーのガイドを行えるリーダー候補発掘と育成を行っています。



島嶼部のうち定期船がある場所は海ごみの調査や回収を行うことが可能ですが、無人島や陸からは到達しづらい島の奥、定期船が通らない側で活動を行うことは困難でした。つり環境ビジョン助成のおかげで船舶をチャーターしながら、活動することができました。



理事長 三井 文博さん



特定非営利活動法人

浅間・吾妻
エコツーリズム協会

活動地域

群馬県 (野反湖)

活動分野

総合環境教育

野反湖の水辺環境保全活動

ごみの場所をマッピングすることで、ごみの集まりやすい場所や種類等を分別することができました。赤く錆びて朽ち落ちた空き缶や古い瓶などが回収された他に、煙草の吸殻やプラスチック類のごみ、治山工事の廃材が目立ちました。



カヤックを使うことで、腐敗処理が行われているため土に還らない治山工事の廃木材を回収することができました。今回のような大掛かりな清掃活動が実施できたのは、つり環境ビジョン助成の採択があったからこそです。



理事長 赤木 道紘さん

全国 **8** 団体を助成

特定非営利活動法人
荒川クリーンエイド・
フォーラム

活動地域

埼玉県・東京都（荒川とその支流）

活動分野

自然保護・保全・復元

荒川河川敷の清掃活動と
ごみ減量の普及

「調べるゴミ拾い」では、ごみの種類と数を記録しながら回収します。そしてごみ拾いのあとは、ごみの発生原因や影響などを皆で話し合い、参加者のごみ減量への“気づき”を促します。



つり環境ビジョン助成の荒川のごみ拾いをきっかけに、ごみについて考え、ごみの減量を実行できる人を増やし、マイボトル持参活動をこれまで以上に強化することができました。ごみを生まない循環型社会、自然豊かな荒川を目指し進めてまいります！



代表理事 佐藤 正兵さん

特定非営利活動法人
いびがわミズ
みずエコステーション

活動地域

岐阜県（揖斐郡揖斐川町を中心に西濃地域全域）

活動分野

総合環境教育

揖斐川流域クリーン大作戦と
いび地域環境塾

毎年ゴミゼロの日に近い5月の最終土曜日に「揖斐川流域クリーン大作戦」を実施しています。本年度は、西濃地域1市5町の全18会場一斉清掃を実施しました。清掃活動以外にも水質調査や鮎の放流などを行っています。「いび地域環境塾」では、揖斐郡内3町の小学生以下の親子を対象に環境学習や体験を実施することで「自然や水を守ろう」という意識付けをしています。



「揖斐川流域クリーン大作戦」では、様々な会場で一斉に清掃活動を行っています。つり環境ビジョン助成のおかげで、揖斐川流域クリーン大作戦の各会場への案内看板を設置することや、いび地域環境塾も順調に回数を重ねることができました。



理事長 中村 賀久さん

海守さめき会

活動地域

香川県（高松市）

活動分野

総合環境教育

故郷の海
レスキュー隊計画2015

ごみをできるだけ出さない様にする対策として、夏休み期間中の県内小中学生を対象とした体験型の学習会を開催しました。学習会を通し、「自分達の海は、自分達で守るんだ!」と云う意識を継続的にもたせることで海ごみの発生・排出を抑制していきます。



つり環境ビジョン助成のおかげで環境啓発活動に、更に多くの子供達にご参加いただくことができました。草の根運動として、故郷の海の抱える現状を知ってもらい、海ごみ排出抑制に向けた意識改革が期待できる活動になったと確信いたします。



会長 中條 慎也さん

一般社団法人
JEAN

活動地域

日本全国

活動分野

総合環境教育

海ごみを題材にした
大人のための環境教育

日本の海岸及び河川の漂着ごみを調査、除去すると共に、ごみのデータを収集、分析し、水環境・海洋環境改善のための方策をとりまとめ、提言を行います。



つり環境ビジョン助成で「大人のための海ごみ講座～海ごみプラごみ研修会～」を開催することができ、各地でクリーンアップ活動などを続ける人たちが現場で伝えるべき情報、手法を提供、共有することができました。



代表理事 金子 博さん

誇れるふるさと ネットワーク

活動地域

鹿児島県（与論島）

活動分野

総合環境教育

海岸清掃活動と大学生との海域調査

毎朝一時間、島内の海岸清掃を行う「美ら島プロジェクト 365」事業を実施しています。この事業を通して、「ごみを捨てない、ごみがあったらその場で拾う」という習慣、文化を島全体に根付かせることを目標に活動しています。



つり環境ビジョン助成により、毎朝の海岸清掃を欠かさず継続することができました。大事なことは「ごみを拾うこと」ではなく、「ごみ拾いの必要がない地域にすること」です。常にごみが見当たらない状態を維持できれば、わざわざごみ拾いを計画しなくていいのであり、それこそが目指すべき状態です。そして「子どもや孫の世代が誇れる故郷」を実現し、全国的に広げていくことを目指します。今後も小さな離島での地道な行動と普及活動を継続しています。



代表 池田 龍介さん



特定非営利活動法人 ワールド オーシャンズデイ

活動地域

神奈川県（鎌倉や藤沢市中心の湘南エリア）

活動分野

自然保護・保全・復元

アマモ場育成を通じた 地域連携ネットワークの構築 （鎌倉・腰越漁港）

アマモは、海の水質をきれいにしてくれて、魚の赤ちゃんを育ててくれます。鎌倉・腰越に暮らす地域の方々と一緒にアマモを植えていき、海の中に森を作ることを目標に様々な取り組みを行っています。



つり環境ビジョン助成をいただいたおかげで、

1. 計画的なアマモの植付け
2. アマモを育成する海中の清掃やビーチクリーン
3. アマモ場の底質調査など、さまざまな活動を実施することができました。将来、この「海の森」が広がって、子どもたちが、笑顔で魚の観察をしている場所になることを願っています。

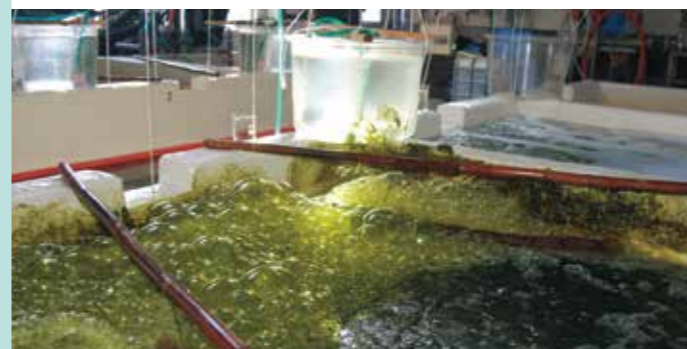


代表理事 武田 真由美さん

専門機関と連携した放流

LOVE BLUE事業は、2013年度より栽培漁業の専門機関である公益財団法人神奈川県栽培漁業協会と連携し、マダイの稚魚の放流を実施しています。受精卵から孵化させ、放流に適したサイズになるまで育成します。2013年夏から東京湾の金沢、久里浜、松輪の3地区沖合に毎年約20万尾放流をしています。また放流後の効果測定にも取り組んでいます。

神奈川県栽培漁業協会でのマダイの稚魚育成・放流の様子と、3年前の放流魚と思われるマダイを釣った釣り人の声をお届けします。



専門機関と連携し **20**万尾放流

専門機関と連携した放流事業

1.海に出るまで



(公財)神奈川県栽培漁業協会の施設内の大型円形水槽で孵化及び育成



孵化後1週間:4月20日



孵化後5週間

2.海での育成



円形水槽から海に設置された網イネスへ移動:6月4日



定期的にイネス網を交換し、防鳥ネットを使い外敵からまもる



放流前に全長や重量、鼻腔隔壁の欠損等を調べる:7月24日



約2ヶ月で約60mmへ成長

3.放流作業



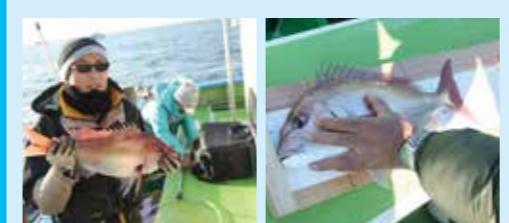
活魚運搬船へ移動し東京湾口へ:8月8日



放流地点よりマダイを放流:8月8日



市場調査:10月15日



遊漁船調査:12月9日



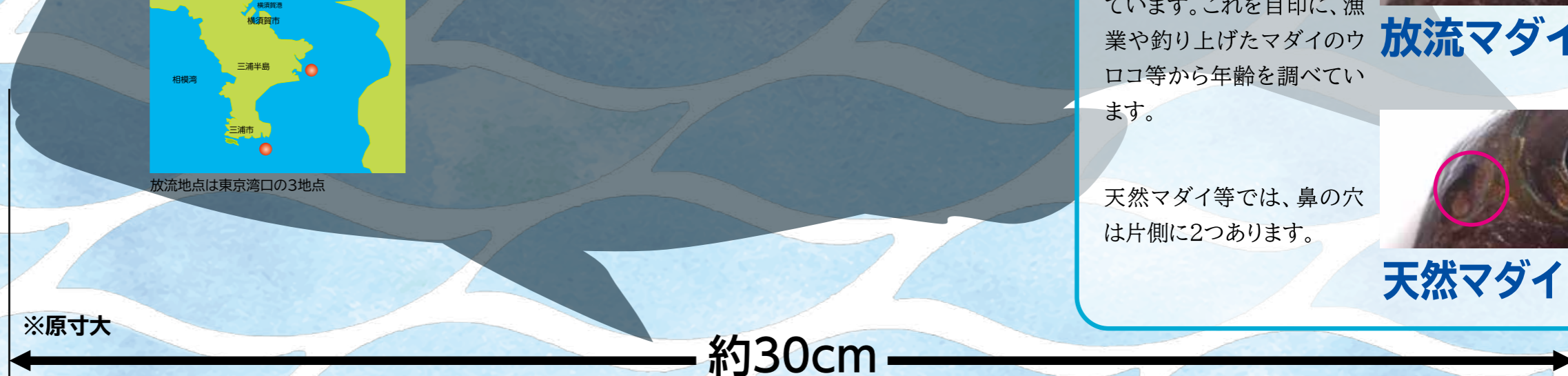
放流地点は東京湾口の3地点



※原寸大

約60mm

放流で東京湾口へ旅立ったマダイ達は約3年で約30cmまで成長すると見込まれています



※原寸大

約30cm

釣り人の声 2015年12月9日 神奈川県横須賀市遊漁船ムツ六丸

- 天然マダイと放流マダイの違いをどうやって見分けるかは、よく知らなかった。
- 東京湾でマダイを放流していることは知っているよ。
- 放流しているから、東京湾はマダイがよく釣れる。
- 放流マダイは大海を泳いでいるから、肉質がしっかりして美味しいよ。
- 養殖マダイとは味が違うね。
- 今日は丸ごと釜に入れて鯛飯を作るよ。
- 天然も放流も、変わらないよ。
- どちらでも、やっぱりたくさん釣れるとうれしいしね。
- 20~30cm 前後のマダイは、一夜干しにしたら美味しいよ。

放流マダイと天然マダイ

放流マダイは、ほとんどの個体で、本来は片側に2つある鼻の穴が「鼻腔隔壁(びくうかくへき)の欠損」により、つながった状態になっています。これを目印に、漁業や釣り上げたマダイのウロコ等から年齢を調べています。



放流マダイ

天然マダイ等では、鼻の穴は片側に2つあります。



天然マダイ

LOVE BLUE 事業報告書2015 発刊にあたり

LOVE BLUE事業報告書2015の発刊、おめでとうございます。

2012年5月24日に提言「つり環境ビジョン2012」が発表されて以来、一般社団法人日本釣用品工業会が中心となり、多数の関係企業や関係者のご協力を得て、プロダイバーによる水中クリーンアップ、水辺環境保全に取り組むNPO活動への支援（地球環境基金との協働プロジェクト）、マダイ放流事業などを、着実に実施され成果を挙げられてこられたことに敬意を表します。



京都大学名誉教授
松下和夫

これらの社会貢献事業活動が評価され、去年は環境大臣から感謝状が授与されました。また、本年5月の伊勢志摩サミットでは、「おもてなし大作戦」の一環として、鳥羽港、熊野市二木島港水中クリーンアップ活動が展開されています。これまでの水中クリーンアップ活動には、南房総市長など全国各地から感謝の声が寄せられ、茨城県涸沼のラムサール条約湿地への登録にも貢献しました。

自然との共生と企業の社会的責任が一層求められる今日、LOVE BLUE事業のますますの発展を心から期待いたします。

公式FACEBOOK・公式ホームページのご案内

公式FACEBOOKでは最新の情報（水中クリーンアップ活動等）を配信しています。
公式ホームページでは自治体や地元からの生の声や、詳細な活動報告を掲載しています。



ぜひご覧ください。

FACEBOOK LOVEBLUE 検索

LOVE BLUE
FACEBOOK



LOVEBLUE 検索

LOVE BLUE HP
<http://www.loveblue.jp/>

